

## その-8 アジサイのもうひとつの魅力 葉芸

### 8-1 <<葉芸とは>>

アジサイはもともと花芸を見所としているものですが、花のない時期に葉芸でも充分に楽しむことが出来ます。

実は、この葉芸といっても植物の栽培をしている方にとっては中々に奥が深い話でありまして、植物の葉の形が元々の形からかけ離れた葉の形に変化しているもの(下の左側は普通の桑の木の葉、右はよじれた鳳凰桑という葉芸品種)、或いは葉は緑色だったものが白や黄色が混ざったり、さらに葉の表面が銀色に光っていたりと・・・その筋の者??にはたまらない植物なのです。ちなみに、葉芸は観賞用の植物だけに現れるわけではなく、白菜や芋、ブドウに、更には柿や桜、ツツジ等々殆どの植物に表れるといっても過言ではありません。



よじれた桑の葉 ⇒  
(鳳凰桑)

⇐ 普通の桑の葉



この葉芸はおそらく何らかの突然変異によって染色体中の DNA が変化したものと考えられますが、その変化がその個体だけで終わらずに子孫へと受け継がれ、すっかり新しい品種として固定した植物も多く認められています。具体的に目にするところでは万年青(おもと)やオリヅルラン、ポトス、ドラセナなどが挙げられるでしょう。この葉芸が貴重であればあるほど当然のことその葉芸品種の価値が上がることにもなり一部のマニアの間では相当高額な取引対象になると聞いたことがあります。嘘か真か江戸時代にはこの葉芸品種が屋敷の売買にまで及ぶことで幕府から取引禁止の植物まであったとか・・・まったく、変なマニアは昔からいたのですね。

アジサイの仲間も例外ではありません。数えきれないくらい沢山あります。ガクアジサイではホームセンターで見かける斑入り城ヶ崎やヤマアジサイでは九重山などはよく知られた斑入りの葉のアジサイの代表といえます。



ガクアジサイ

斑入り城ヶ崎 静岡県産



エゾアジサイ

仮称 斑入りエゾ 新潟県産



ヤマアジサイ

九重山 大分県産

## 8-2 << 葉芸の種類 >>

ここでは、主に葉において、通常一色になる部分が変異を起こし、二色以上になって模様を作る現象で、葉緑素等の色素が抜け、白や黄色、または赤色に変色した斑入り葉について説明します。

アジサイで現れる斑には次の様な6種類くらいの種類があります。

- ・刷毛込み斑（はけこみふ）…葉の中央から縁に向かって刷毛で塗ったような斑
- ・散斑（ちりふ）…小さな斑点が葉全体に散らばる
- ・縞斑（しまふ）…細い葉に入る縦縞を呼びます。
- ・砂子斑（すなこふ）…細かい点が葉の全体に入る場合
- ・黄斑（きふ）…葉の緑が黄色になる場合。
- ・覆輪（ふくりん）…葉の周囲に入ります。

その他の植物では・条斑（すじふ）…縞の斑が縦に入る

脈斑（みやくふ）・網斑（あみふ）…脈状の斑

虎斑（とらふ）…横に入る斑

切斑（きりふ）…直線的な境界線で二色に分かれる斑

爪斑（つめふ）…葉の先端部の縁

中斑（なかふ）…葉の中央部

植物の種類によってはこの他にもあるかも知れません。



散斑（ちりふ）  
松芝散斑 高知県産



覆輪  
石神福輪 高知県産



砂子斑  
芹生しぐれ 京都府



黄斑（きふ）  
駿河黄金 静岡県産



縞斑（しまふ）  
白縞散斑 東京



刷毛込み斑（はけこみふ）  
豊後錦 大分県産

斑の現れ方は品種によってさまざまに変化し、色と大きさ、散斑と縞斑、砂子斑が混ざったような葉も見られます。この写真の中のアジサイは全てヤマアジサイですが、斑入り覆輪葉は比較的最近になって発見され珍しいものです。

### 8-3 << 斑入り葉の性質 >>

#### 8-3-1 斑入り品種は元の緑色の葉に戻りやすい。

アジサイの斑入り葉は葉緑素が少ない分、強い日差しで葉焼けを起こしやすいので鉢での栽培には注意が必要です。その他斑入りアジサイに再び変異が生じたり、交雑や育成環境が原因で元の緑の葉に戻ってしまうことはこれまで多く経験しています。このことを先祖返りといっています。

ヤマアジサイの場合、経験的にこの先祖返りし易い品種を覚えておくことも大切です。緑の葉に先祖返りしてからその緑葉を斑入り葉に戻そうと幾ら多く挿し芽をしても斑入り葉は出現しません。ではどのような品種が先祖返りし易いのか。また反対に先祖返りし難い(芸が安定しているといえます)のか次に示してみました。参考にしてみてください。

#### ○ これまで経験的に先祖返りし易いヤマアジサイの品種 10種

- ・美萩錦   ・七段花錦   ・剣の舞錦   ・深山八重紫錦   ・木曾変化錦
- ・阿波錦   ・羽衣の舞錦   ・綾錦   ・クレナイ錦   ・金玲

#### ○ 先祖返りにくい芸が安定している品種 10種

- ・芹生しぐれ   ・雪しぐれ   ・ああ石神峠   ・伊予冠雪   ・紅玉龍
- ・浮雲   ・弥彦   ・裏天狗   ・姫鶴の初雪   ・駿河黄金

こうして比較してみると斑入り品種名の最後に「錦」の付いた品種は全部ではないのですが先祖返りし易いことが分かります。我々アジサイ仲間でも斑入り品種で「錦」の付いた品種は要注意とています。

ちなみに、良心的な園芸業者の場合は、アジサイについて芸が安定するまで何年も挿し芽を繰り返し、斑入りの葉芸が何代も継続し、斑が消失することが無いことをしっかり確認してから販売してくれるので安心です。これと反対に栽培している鉢の中から偶然に斑入り葉が出現することが稀にありますが、「シメタ!!」と思って挿し芽をしても緑葉が多くなり、芸が継続出来ないことはアジサイに限らず他の植物でも経験することです。

#### 8-3-2 幽霊葉とその処理

すべての葉や枝が真っ白になる場合があります。これを幽霊葉 (ゆうれいいつば) とよんで、斑入りの極端なものです。見た目は大変綺麗ですが当然のこと葉緑素がありませんから葉で光合成出来ず、普通は栽培が不可能でその鉢のアジサイは殆ど枯れてしまいます。

このような品種を栽培するには鉢の中の幹で白色の葉の部分と緑色の葉の部分を含む幹を剪定の時に残しておく必要があります。あまり多く緑葉を残すと白色が無くなりますし、緑葉が少ないと





株全体が弱くなり枯れますので、その調節、比率が何年栽培しても難しいところです。さらにこの幽霊葉の幹からは花は期待できないので緑葉の枝で咲かすので、白色と緑色のバランスがさらに夏場の直射日光や寒風を避けたり栽培を難しくしています。(写真はヤマアジサイ 天空の極み)

いずれにしても殆ど緑色の部分の無い葉の出現には栽培に神経を使います。

### 8-3-3 緑葉と斑入り葉が極端に偏った品種は花の付き方も偏りがみられる。

芸が安定していない斑入り品種によく見られる傾向です。どうしても緑葉は元気が良いので花芽はその枝先に集中します。反対に斑入り葉の枝には花芽が付かない場合が多く鉢の中で咲き方に偏りが出てきます。8-3-2 で示しました芸の安定している品種はこの偏りは殆どありません。

### 8-3-4 斑入りアジサイに素晴らしい花を付ける品種は殆ど見かけない。

斑入りアジサイも普通の緑葉のアジサイと同じ環境下で管理すれば殆どの場合、開花しますが斑入り品種の花はどれも特徴が無く白色か、薄い青色の一重額咲きが大部分です。八重咲、テマリ咲きで安定している品種は殆ど見かけません。葉と花の二芸を満足させるアジサイはなかなか難しいものです。今後 ・七段花錦 ・剣の舞錦 ・深山八重紫錦 等が簡単に安定すれば良いのですが・・・私、個人的にはヤマアジサイの満天星や長門紫で安定した覆輪葉があればと・・・

## 8-4 << 斑入り品種の管理 >>

8-4-1 出来るだけ直射日光を避けて管理する。

葉に葉緑素が少ないために強い日差しは株にダメージを与えます。

8-4-2 花後の剪定は斑入り葉と緑葉をバランス良く剪定すること。

芸の安定している品種は緑葉だけの枝や幹がある場合は取り除く必要があります。どうしても先祖返りすることがあります。

8-4-3 その他、水やり、植え替えの頻度、肥料等は他のアジサイと同様の管理です。

## 8-5 << 斑入り品種の増やし方 >>

斑入りアジサイの増やし方は、普通の緑葉のアジサイと同様に挿し芽で簡単に増やすことが出来ます。

・挿し芽の時期 ヤマアジサイは4月下旬～6月上旬 ガクアジサイは5月～7月

・挿し芽の採り方 斑入りアジサイを増やす場合は、斑入りの部分の枝のみを使うことが大切です。緑葉の枝を挿し芽しても斑入り葉は出現してきません。

・挿し芽の方法 鹿沼土だけを使い挿し芽後は毎日水を与えます。

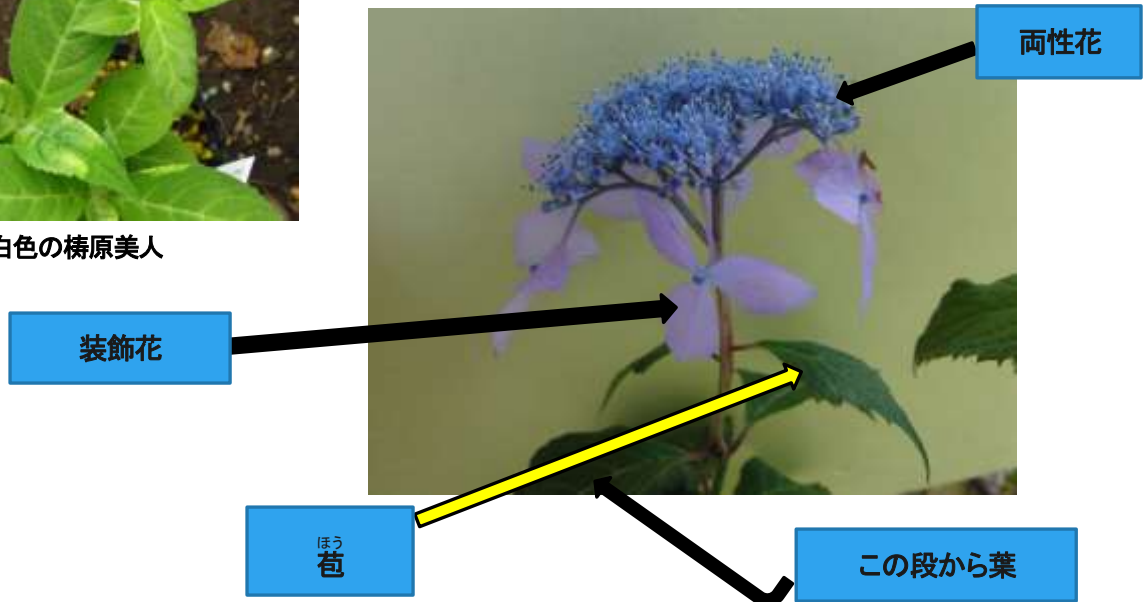
#### 8-6 << その他、注意すること >>

下の写真を見て下さい。葉の上の方が白色になって斑入りのアジサイのように見えます。しかし、このアジサイは斑入り葉ではありません。ヤマアジサイの最上部の葉に見える苞（下图参照）



苞が白色の栲原美人

という部分が白くなったものでヤマアジサイでは比較的良好に見かけます。斑入りアジサイと間違えないようにしましょう。



#### 後暗みについて

アジサイの斑入り葉によく見られる現象として後暗み（のちぐらみ）があります。これは開花前にははっきりと明瞭な斑模様だったものが、開花の頃から色がくすんだ感じとなり夏場頃には不明瞭になり品種によっては緑葉と区別できなくなります。これは管理の影響ではなく、その品種の性質であり特にもともと薄い斑模様だったり、黄色、黄金葉といわれる品種にその傾向が見られます。ちなみに、完全に元に先祖返りした品種のことを「斑ぬけ」または「斑切れ」とよんでいます。

#### 8-7 珍しいヤマアジサイの葉芸品種の紹介

##### ・赤い葉



赤べえ 高知県産



赤べえの花

・黒っぽい葉



黒龍 徳島県産

・緑の葉にさらに濃い緑色の覆輪



佐伯細葉 高知県産



黒龍の花

・新葉が金色に光る



石空川ナデシコ 山梨県産

・見事な黄色の斑が鮮やか



阿波錦 徳島県産

・複雑にくすんだ様な斑



伊野錦 高知県産

・葉に白い筋が白波のように、わずかに...



瀬戸の白波 愛媛県産  
珍しいてまり咲きの斑入り品種

・大型の黄斑品種



南国の光 宮城県産



- ・夏の間、頂上部の葉が白く変化する珍種



紅冠雪 島根県産

- ・ 斑入りノリウツギ



安定した散斑の斑入り品種

- ・ 長い間親しまれている斑入り品種



伊予冠雪 愛媛県産

- ・ 春先の新葉は黄色の葉



黄金の夢 高知県産

- ・葉がピロードのように分厚い斑入り品種



錦山錦 高知県産



ノリウツギの花 一重額咲き

- ・葉の付け根が黄色に染まる



黄冠 福岡県 英彦山産



黄金の夢の花

・その他、いろいろなヤマアジサイの斑入り品種



金玲 静岡県産

・小型の斑入り品種



紅玉龍 高知県産

・斑入りの葉がよじれる品種



天狗塚錦 徳島県産

・八重咲き斑入り品種



深山八重紫錦 兵庫県産



裏天狗 愛媛県産



由布錦 大分県産



耶馬溪錦 大分県産



浮雲 鹿児島県産



・新しく紹介された四国地方の斑入り品種群



高研のちかい 愛媛県産



高研の初雪 愛媛県産



高研の誉 愛媛県産



高研錦 愛媛県産



東川の源 高知県産



姫鶴の初雪 高知県産



日高錦 高知県産



薄ら氷 愛媛県産



斑入りコガクウツギ



斑入り大甘茶



雪しぐれ 佐賀県産



霧島錦 九州産

突然変異で現れた植物の斑入り品種や珍しい葉の紹介をしましたが、ヤマアジサイ一つを例にとってもまだまだこの葉芸は奥深いものが感じられ、それが多くの植物で葉芸マニアを引き付けることにもなるのでしょう。葉芸アジサイは「未完成の美・・・」これは私の勝手な解釈でしょうか。

アジサイの咲く期間は関東周辺ではヤマアジサイで5月、ガクアジサイでは6月とその時期を過ぎれば緑の葉だけを観ることになりますが、この葉芸を参考にされて、この機会に斑入りヤマアジサイを一鉢栽培されては如何ですか。暑い夏、多少の涼しさを提供してくれますよ。